

RESSAS(リーサス)の活用

工藤 英人(創志会)

質問 人口ビジョンや地方版総合戦略の策定に、国が提供しているリーサスが用いられると、膨大なデータの中から、その特性に即した地域課題を抽出し、自らの地域の現状と課題を把握した政策や施策の検討、立案をすることが可能になるが、このシステムを活用することについて市の見解は。

答弁 主に人口ビジョンの策定において、有効に活

用している。今後も、施策・事業の構築や総合戦略等の改定に際して引き続き、より効果的に活用していきたい。

(桐生市人口ビジョン・総合戦略)



広域連携事業の今後

周藤 雅彦(クラブ21)

質問 斎場やごみ処理場などの施設がある当市の地



元住民は、共同事業実施に関する覚書による人口割や搬入量割などの基準では図れない大きな負担を負っている。覚書の負担割合の見直しをみどり市に投げかけることについて市の見解は。

答弁 施設のある地元住民がどれだけ負担を負っているか、みどり市民の皆様を知ってもらうことは大切である。老朽化などで改修が必要な施設もあることから、様々な状況の変化を踏まえた上で見直しを進めていく必要がある旨をみどり市にも働きかけていきたい。

妊娠中及び産後のケア

北川 久人(創志会)

質問 不妊症や流産で悩んでいる方への取り組み、

(桐生市保健福祉会館)



また産後ケア事業の状況は。

答弁 妊娠初期を中心とした不妊症や流産の相談窓口については、婚姻届出の機会にパンフレットを配布するなどの周知に努めるとともに、妊娠以前からも、より相談しやすい窓口体制を整備していきたい。また、産後ケアについては、ショートステイやデイサービスなどの実施方法や、乳房ケアを含む母親の心身ケアと、赤ちゃんの入浴や母乳の飲ませ方の指導など、内容を検討し、この秋頃を目途にスタートさせたい。

合併に関する市民への説明

伏木 康雄(市民の風)

質問 合併に対する強い思いを持っている市民はたくさんいる。その人たちが開かれた場で市長の話を聞ける機会を設ける考えは。

答弁 今回のみどり市からの回答を重く受け止めている。現時点では、このことについて、市広報やホームページに掲載し、また、

いろいろな場面でさまざまな団体と話をする中で、できるだけわかりやすく説明をすることにより、理解を

(桐生市役所)



得ようと考えている。

その後、さまざまな意見が出た段階で、どう市民に理解いただくかは、今後の検討課題としたい。

ふるさと納税の返礼品

新井 達夫(桐政会)

質問 全国の各自自治体があるさと納税に向けて積極



的に取り組んでいる中、桐生市もそれぞれの事業との連携及び文化遺産などを活用しながら、ふるさと納税の収入アップを図るとともに、返礼品に桐生の特産品を活用することによって、経済の活性化や雇用の反映にもつなげることができると考えられるが、市の見解は。

答弁 当市としては、純粹に桐生を応援してくれる方を増やすことが重要であると考えており、返礼品については、今後も適切に対応していきたい。

お出かけ環境の向上

山之内 肇(公明クラブ)

質問 多くの市民が病院やスーパーなどへの移動手段の確保に難儀し、外出し

(デマンドタクシー)



たくてもできないという状況があり、お出かけ環境の改善を切に望んでいる。これらの課題に対しての政策を進めるべき。多様なニーズに対応した向上策として、タクシー利用の支援拡充による市内全域デマンド化を推し進めることを提案する

が見解は。

答弁 交通弱者の方々へ

予約制おりひめ

園田 基博(創志会)

質問 川内町や梅田町といった坂の多い地域の高齢者にとって、バス停までの上り下りの移動が大変であるため、予約制デマンドタクシーの導入を希望する人が多いと考えるが、高齢化に伴う課題と今後の対応について市の見解は。

答弁 バス停までの移動や乗りかえを負担と感じている高齢者などは多いと理解している。今後おりひめバスの見直しを検討する中

で、路線バスのみではカバーできない部分について、交通需要量などを考慮しながら地域の特性に合った施策を研究していきたい。

(おりひめバス)



栃久保沢の安全対策

関口 直久(日本共産党議員団)

質問 国土交通省が建設した栃久保沢砂防ダムから

(栃久保沢砂防堰堤)



山田川合流までの区間について、沢に雑木などが生い茂っており、沢の状態を確認できない状況だが、伐採などの計画は。

答弁 国土交通省から、土砂流出防止対策は完了しており、現時点では整備計画はないと聞いている。市としては、道路が沢を横断する箇所の上流部について、早急に伐採などを行い、沢の状態を確認できるようにしたい。また、流水を阻害するような流木、立ち木などがあれば、市で対応したいと考えている。

Aコープ入口の交通対策

田島 忠一(いちえ)

質問 県道332号線の間ノ島地内にあるAコープ

(県道332号線(広沢町間ノ島地内))



の前を横断する人を多く見受ける。歩道橋は設置されているが、高齢者には荷物を持って上がるのは大変であると考える。市民の安心・安全の観点から横断歩道を設置できないか。

答弁 横断歩道を設置するには、桐生警察署に要望書を提出し、設置の判断は群馬県公安委員会がしている。交通管理者である桐生警察署に確認したところ、間ノ島歩道橋が近接することから、一般的には横断歩道を新設することは難しいと伺っている。

共同事業の見直し

河原井 始(クラブ21)

質問 合併が白紙になったみどり市との共同事業に

(桐生市清掃センター)

については、施設の老朽化が進んでおり、更新期を5年から10年後に迎える現実がある。例えば学校を新設するにも5年くらいかかるのだから、いち早く手を付けるべきではないか。

答弁 各施設は、地元の人々の大変深い御理解により、立地しているものであり、老朽化している施設もあることから、様々な状況の変化などを踏まえた上で、将来に向け施設のあり方なども、検討していかなければならぬものと考え



下水道使用料審議会

岡部 純朗(桐政会)

質問 下水道使用料審議会諮問に至った理由は。

(桐生市水道局)



答弁 1点目は公営企業化に向け適正な使用料が求められてくる。2点目は地区により使用料の不均衡が生じている。3点目は今後見込まれる多額の改修費などのための安定した経営基盤作りに使用料の適正化が必要であるとの意見をまとめ、下水道使用料審議会の場で検討する運びとなった。

質問 審議中のため未定。

答弁 審議中のため未定。

観光都市桐生と民意

飯島 英規(市民の風)

質問 東京や神奈川などからの観光客4000万人、

(観光イメージアップポスター)

訪日外国人1億人、この大きな人の波を桐生へ誘客するため、県境を越えた他都市との連携が必要であり、観光都市桐生ビジョンを作り上げるべきと考える。また、観光都市桐生として生きる意味で民意の醸成が大切と考えるが市の見解は。

答弁 足利市や富岡市との連携による広域観光や浅草に来る外国人観光客を桐



公契約条例について

福島 賢一（桐政会）
 質問 保育所及び介護施設などにおいて、労働時間（桐生市役所）



に対して賃金が低いいため、全国的に人材不足の傾向があると聞いているが、桐生市において、この様な現象は発生しているのか。

答弁 当市内の施設では、大きな格差はなく、人材不足などについてもサービスの低下に繋がるほどの状況ではない。

質問 公契約条例の制定が必要と考えるが、研究及び検討しているのか。

答弁 既に先進地事例の研究や情報収集に努めており、引き続き調査・研究を深めたいと考えている。

主な議案

○桐生市地区計画等の案の作成手続に関する条例の一部を改正する条例案

概要

地区計画等の案の作成に際し、地域の特性に応じたきめ細やかなまちづくりを進めるとともに、地域のまちづくりについて住民参加を促すため、所要の改正を行おうとするもの。

○桐生市子どものための教育・保育の利用者負担額等に関する条例の一部を改正する条例案

概要

子ども・子育て支援法施行令の一部が改正され、幼児教育の段階的無償化が実施されることに伴い、多子世帯及びひとり親世帯並びに里親等に係る保育園、幼稚園等の利用者負担額を軽減するもの。

新里・黒保根地区の地域戦略

久保田 裕一（市民の風）

質問 みどり市からの合併に関する回答を受けて、飛び地が解消されないことは大変残念である。飛び地であるからこそ、独自の地域戦略を示していくことが必要と考えるが、新里地区及び黒保根地区の位置付けとポテンシャルを最大限引き出すような地域戦略は、

答弁 新里・黒保根地区のすばらしい自然や将来性は認識している。隣接する前橋市や沼田市など、赤城

山を囲む地域の市が連携することもひとつの方法と考える。今後も、両地域の特色を生かしながら発展のために努力していきたい。（桐生市役所）



一般会計の補正予算

○平成28年度桐生市一般会計補正予算（第1号）

可決

概要 歳入歳出予算について、歳入歳出それぞれ2億4,446万4,000円を増額補正して、予算総額を455億2,446万4,000円としたもの。

歳出予算の主な補正内容

- 民生費教育・保育給付費
 認定子ども園施設整備補助事業
 ……………2億2,679万円の追加
 （認定子ども園施設整備費補助金、保育所等整備費補助金）
- 農林水産業費農業土木費
 新里支所土地改良事業
 ……………900万円の増額
 （農業用ため池調査計画事業委託料）
- 農林水産業費山村振興特別対策費
 梅田ふるさとセンター事業
 ……………338万1,000円の増額
 （安全柵整備工事費、駐輪場整備工事費）

人事案件

市議会は、次の人事案件1件に同意しました。

教育委員会委員

板橋 英之氏
 （新任）



お知らせ

議員の暑中見舞状・寄附などは法律で禁止されています。

- 公職選挙法により、議員は次のことを禁止されています。市民の皆さんのご理解をお願いします。
- ◎暑中見舞状などの挨拶状を出すこと。
 - ◎寄附をすること。
 - ◎本人が出席しない慶弔に祝儀や香典を出すこと。

◆次回定例会の開催予定は…

8月24日(水)です。

市議会だよりは、紙面の都合で発言の一部(要旨)を掲載しています。詳しくは、図書館で会議録をご覧ください。なお、会議録は桐生市ホームページからでもご覧いただけます。